

平成28年度
事業報告

西蒲区社会福祉協議会

平成28年度 西蒲区社会福祉協議会事業報告書

＜事業実施概要＞

平成28年度は、地域包括ケアシステムの構築に向けて先進地視察研修の開催、地域福祉活動計画を推進するために各地区懇談会への参加と支援をしました。

また、地域の見守りの仕組みづくりのツールとして緊急情報キット配布への周知啓発活動を行いました。

CSWの活動では、関係機関と連携し個別の課題に対して多様なアプローチと、専門職との連携強化に努めました。

市から受託している第1層西蒲区支え合いのしくみづくり会議では、自治会へのアンケート調査、第2層支え合いのしくみづくり会議推進員への支援、地域包括ケアモデルハウスへの立ち上げ支援を行いました。

西蒲区地域福祉推進フォーラムでは、包括支援センター4圏域全てに第2層支え合いのしくみづくり会議が立ち上がったこともあり、「最後まで住み続けることができる地域」をテーマに医療法人社団 萌気会 黒岩 卓夫 氏より基調講演をしていただき、地域包括ケアシステムの全体像を住民に知っていただくために、医療・介護の取り組みと支え合いのしくみづくり会議を包括し、報告させて頂きました。

I 事業実施状況

1. 地域福祉推進活動事業

1-1 各地区社協への助成

区社協構成の基盤となる地区社協の独自性を尊重し、各地区社協活動の充実を図るため助成金を交付しました。

＜助成金交付状況＞

地区名	助成金額	指定寄付金額	寄付件数
岩室地区	789,000円	8,500円	1件
巻地区	1,779,000円	69,813円	1件
西川地区	927,000円	90,140円	2件
潟東地区	414,000円	0円	0件
中之口地区	591,000円	98,270円	1件
		602,280円	13件

1-2 歳末たすけあい助成事業

【実施目的・内容】

民生委員や自治会等の協力のもと、新たな年を迎える時期に、支援を必要とする方々が地域で安心して暮らすことができるよう、住民の参加や理解を得て福祉活動を行いました。また、団体同士の交流と親睦を目的に交流会やイベントを開催しました。

地区名	歳末たすけあい事業内容
岩室地区	歳末見舞品配布事業・防犯防災事業
巻地区	歳末地域事業助成・給食サービス等
西川地区	歳末見舞品配布事業・多世代交流
潟東地区	おせち料理配食サービス
中之口地区	おせち料理配食サービス

(1) 地域歳末たすけあい事業

主な内容	参加対象者	平成 29 年度		平成 28 年度	
		参加団体数	参加人数	参加団体数	参加人数
【地域歳末交流事業 (多世代交流)】 各地区で孤独感の解消や仲間づくりを目的に、高齢者を対象とした昼食会の開催、子どもたちと地域の方の交流会の開催	自治会、コミ協、老人クラブ、地域住民等	5 団体	3,500 人	5 団体	2,700 人
【歳末ボランティア交流会】 ボランティア団体、個人ボランティア、福祉団体、サロン関係者の仲間づくりや親睦を深めるため、交流会・情報交換会の開催	ボランティア団体、福祉団体、サロン関係者	5 団体	200 人	5 団体	1,200 人
【歳末サロン交流会事業】 地域の茶の間、サロン活動をしている方の仲間づくりと、レク講習会、交流会の開催	自治会、サロン主催者等	5 団体	200 人	5 団体	300 人
【歳末友愛訪問事業】 民生委員や自治会、コミ協の協力のもと、安否確認を兼ねて訪問する。	見守りが必要な在宅の一人暮らし、高齢者世帯、寝たきり、障がい者	10 団体	1,300 人	10 団体	1,200 人
【歳末防犯防災に関する事業】 区内で世代間の交流を兼ねて防犯・防災の啓発活動と、防犯防災の知識の習得	自治会、コミ協、区民等	2 団体	200 人	2 団体	150 人

1-3 地域福祉活動計画推進事業

【実施目的・内容】

西蒲区内のコミュニティ協議会の地域、7地区において、一般住民、福祉・介護事業所、民生委員、自治会長、コミ協役員、地区社協役員等で懇談会を開催し、これまでの取り組みを振り返り、地域福祉活動計画の目標に向かってどのように計画的にアプローチできるか話し合いました。

地区懇談会の開催

開催日	開催地区	会場	参加者数
平成28年7月28日(木)	—	第一回西蒲区地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員会 西蒲区役所	28人
平成28年8月22日(月)	潟東	潟東農村環境改善センター	30人
平成28年8月28日(日)	中之口	中之口地区コミュニティセンター	30人
平成28年9月8日(木)	角田	角田地区コミュニティセンター	10人
平成28年10月28日(金)	岩室	岩室地区公民館	19人
平成28年11月30日(水)	松野尾	松野尾地域コミュニティセンター	32人
平成29年2月15日(水)	西川	西川健康センター	35人
平成29年2月24日(金)	漆山	漆山地区公民館	48人
平成29年3月23日(水)	—	第二回西蒲区地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員会 西蒲区役所	22人

1-4 地域福祉リーダー研修

【事業目的・内容】

西蒲区では、平成26年度3月「西蒲区地域福祉計画・西蒲区地域福祉活動計画(2015～2020)」と、地域包括ケアシステムにおける「支え合いのしくみづくり」を学ぶため、先進地視察に13名が参加しました。

1-5 生活支援体制整備事業

【事業目的・内容】

単身や夫婦のみの高齢者、認知症の高齢者が増加する中、生活支援・介護予防サービス担う多様な事業主体と連携しながら、多様な日常生活上の支援体制の充実・強化及び高齢者の社会参加の推進を一体的に図ることを目的とする。

会議・主な取り組み	開催月	主な内容
第1回西蒲区支え合いのしくみづくり会議	8月22日(月)	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度支え合いのしくみづくり推進員の紹介・報告 地域包括ケア推進モデルハウスについて 自治会・町内会アンケート調査について
第2層協議体立ち上げ勉強会・準備会(巻・西川圏域)	第1回 8月29日(月) 第2回 9月23日(金) 第3回 10月17日(月)	<ul style="list-style-type: none"> テーマ「わが地域、西蒲区のこれからの地域づくりについて 今 みんなで考える時」 講師 さわやか福祉財団 理事 鶴山 芳子 氏
自治会・町内会アンケート調査	9月～10月	<ul style="list-style-type: none"> 目的：自治会・町内会の取り組み・活動を知り支え合いのしくみづくりを推進する基礎データの収集 調査対象：西蒲区内222自治会 回答件数：150自治会＋無記名自治会18168自治会 回答率：75.7%
第2回西蒲区支え合いのしくみづくり会議	平成29年 3月27日(月)	<ul style="list-style-type: none"> 地域包括ケア推進モデルハウス利用者数について 第2層支え合いのしくみづくり会議の設置等の進捗及び報告(岩室、中之口・潟東圏域) 自治会アンケートの報告 新潟市地域包括ケアシステムの構築に向けて 平成29年度第2層圏域の動きについて

- ・第2層支え合いのしくみづくり会議への参加
- ・モデルハウスへの協力 随時

2 見守り・生活支援事業

2-1 子育て支援事業

【事業目的・内容】

平成23年度から、西蒲区内の子育てサークルの育成を目的として、高齢者に偏りがちな福祉事業だけではなく、次世代の福祉ニーズを捉える手がかりの1つとして行いました。

年度	H28	H27	H26
助成サロン数	1	1	3

2-2 緊急情報キット・安心袋配布事業

【実施目的・内容】

2年間の移行期を経て今年度、安心袋配布事業は廃止とし、緊急情報キット配布事業へ移行しました。廃止の主な理由は、地域の福祉関係者や事業者のみで情報を共有するところであり、地域の中での支え合いや見守りという現状の政策や区の活動計画にそった形で広がりや効果が期待できないためです。

区分	H28	H27	H26	延べ配布数 (H21～)
安心袋	12 個	141 個	165 個	2,176 個
キット	1,841 本	141 本	165 本	3,747 本

2-3 地域活動交流支援事業（ふれあいいきいきサロン事業）

助け合い支え合う地域づくりを進めるために、地域の皆さんが集まりやすい場所を利用して定期的に子どもから高齢者、障がいのある人など誰もが気軽に交流する活動を支援しました。

1) ふれあいいきいきサロン（地域の茶の間）に対する支援

【実施目的・内容】

担い手と参加者が共に作り上げていくサロンを目指し、各地域で実践されているアイデアや工夫を共有し、サロン同士のつながりをつくっていくことを目的に開催しました。

開催日／会場／参加者	内容
開催日：平成 29 年 3 月 14 日（火） 会場：巻中央コミュニティセンター 参加者：50 名	西蒲区サロン交流会 平成 29 年度新制度説明会 にしかんみんなの体操 ランチ交流会（そば名人のおそば） 介護予防、医療・介護連携講話 潟東クリニック院長の講話

2-4 コミュニティソーシャルワーク推進事業

1) CSWの具体的取組

西蒲区CSWの活動として、個別の課題に対する支援並びに支援者、専門家とのネットワークづくりと支援体制の構築、また、地域課題に対するモデルの実施と各包括圏域へのケア会議への参加、自立支援協議会交通弱者ワーキング座長として活動を行いました。

① 個別支援事例

区 分	内 容
事例概要①	<p>社協にボランティア登録している団体役員（80歳代女性）の自宅がゴミ屋敷化していると区役所健康福祉課から相談がありました。</p> <p>自宅の状況（外観）は自宅前の道路まで物が散在していて、玄関から先は物で溢れ確認できない状況。散在している物は、長期間経っていると思われる缶詰や瓶詰、惣菜などの食品から鍋や食器、バケツ等様々。</p> <p>これまでも近隣住民や区役所などから本人に苦情があったようですが、本人にとって「ゴミ」ではなく「必要な物」であり、苦情に対して「処分」ではなく「整理」することを求められているという認識を持っています。</p>
CSWによる支援内容	<p>対象者宅の状況確認、近隣住民の方からの情報収集、ご本人との面談を繰り返し行いました。</p> <p>また、関係機関（包括支援センター・区役所担当課）とケース会議を行い情報共有・支援方針の相談を行いました。</p>
成 果	<p>○ご本人宅を繰り返し訪問し面談することで、ご本人との関係性を築き、近隣住民との関係性や心境を聞き出すことができました。</p> <p>○近隣住民の方から話を聞くことで対象者が地域に置かれている状況を把握することができました。</p> <p>○関係各機関と情報共有することで、支援する視点が限定的になることなく包括的な支援体制を整えることができました。</p>
今後の課題	<p>○ご本人が物の溢れかえった現在の状況に対して「処分する」という考えを持つに至っておらず、あくまでも「整理する」という考えに留まっており、支援者の協力を拒んでおります。</p> <p>○ご本人も80歳代と高齢の為今後体調変化のリスクが高まっていくことが予測されます。近隣住民へ協力を求め、見守り体制を構築していく必要があるように思われます。</p>
事例概要②	<p>30歳代男性、知的障害、療育手帳A。</p> <p>NPO法人運営の居場所、健康センターに来られ活動に参加されているが支援者が常に一人付き添い、ひとつひとつ指示を出さないと活動参加できない状況。ボランティアの方も対応の仕方が分からず困惑している、人手も足りず困っていると相談がありました。</p>
CSWによる支援内容	<p>本人・NPO法人代表とそれぞれ面談し、状況を確認しました。</p> <p>ご本人に「就職したい」という希望があり、居場所へ通われている背景には就職のためという意味も隠れていました。</p> <p>障がい者相談支援機関や保健センター等関連機関と情報共有を行い、本人の希望実現に向け支援体制の調整を行いました。</p> <p>また、居場所で過ごす際に課題となっている、本人の衝動的な行動への対応方法について、各支援者が集い検討する場を設けました。</p>

成 果	<p>○障がい者相談支援機関や福祉就労に関わる機関へつなぐことで本人の希望である就労へ向けた支援体制を整えました。</p> <p>○居場所での過ごし方を本人・支援者間で取り決めることで今後も居場所の利用を継続できるよう支援しました。</p>
今後の課題	<p>就労支援を進めている中で本人の希望されている就労内容と現実には差があり、就労支援機関へ相談することなく自身で活動されている等のつまずきが生じてきました。</p> <p>また、居場所での過ごし方でも新たに課題が生じてきました。</p>

2) 西蒲区CSW重点事業

区 分	内 容
テーマ	<p>【就職困難者への支援について】</p> <p>個別支援対象者で複数名みられた、就労困難者への支援を重点的に取り組みました。</p>
目 的	<p>個別支援において2名の就職困難者を認めました。</p> <p>1名に関しては障がいの診断を受けていないが疑いあり一般就労という条件で困難さを抱える方、1名は障がいの診断を受けており手帳所持されているが、障がい者就労支援事業所の継続的な支援が行えずにいる方。</p> <p>双方ともに、就労希望がありながらも就職できずにいる状況におかれている為、地域共通課題の可能性を具体化・明確化し支援方法を見出すことを目的としました。</p>
成 果	<p>○西蒲区の就労場所の特徴として農業関係や工場関係が多く、障がいをかかえる方向けの求人は比較的多い状況が確認できました。</p> <p>○一方で就労支援機関が西蒲区にはハローワークしかなく、伴走型の支援を受けるには中央区等遠方に通う必要があり継続利用のハードルが高い環境であることが確認できました。</p> <p>○就労支援機関と本人の間にCSWが入り双方をつなぐ役割を担うことで本人が支援機関に通う頻度を抑え、継続的な就労支援につながることができました。</p>
今後の課題	<p>○西蒲区において移動手段に自家用車を使用できないことは地域課題として顕在化しており、それは就労にも大きく影響を及ぼしていることが明確化されました。</p> <p>○面接やコミュニケーションの訓練など、支援機関でなければ行えない就労準備の実習に関して、どのように支援策を作っていくのかは課題として残りました。</p>

3) 定例会・会議等への参加

- 定例会、研修会の開催
 - 定例会（随時）個別支援や地域支援の課題について随時検討会を行いました。
 - 社協役員研修の開催

- 自治協議会、コミュニティ協議会連携
自治協事業「見守りキーホルダー」の実施協力
コミュニティ協議会事務局長会議への参加 5回 個別相談 3回
- 地域包括ケアに関する会議への参加
西蒲区在宅医療ネットワーク 幹事会4回、定例会1回、MCS 練習会1回
各地域包括支援センターケア会議 10回
- 見守り活動の取り組みへの支援
見守り活動相談・研修 5回
- 地域福祉計画・地域福祉活動計画座談会への参加
コミュニティ協議会圏域 7地域
- その他の取り組み
 - ・西蒲区自立支援協議会会議・ケース会議への参加
 - ・傾聴ボランティアの育成と活動調整会議への参加
 - ・西蒲区地域福祉推進フォーラムの開催

2-5 心配ごと相談事業

【事業目的・内容】

市民の日常生活上の心配ごと、困りごとなどの相談に適切な助言を行うため、民生児童委員等の協力を得て相談業務に当たりました。

また、適切な対応と相談機関としての充実を目指して、相談員の研修を年3回行い、相談所としての相談対応の向上を図りました。

<相談件数>

区 分	件 数
住 宅	1
家 族	5
精神衛生	10
法 律	1
財 産	3
苦 情	3
その他	25
H28 合計	48
H27 合計	23
H26 合計	15

2-6 地域福祉プロデュース事業

【事業目的・内容】

平成23年度から、自治会の見守り活動や福祉活動に対して助成、自治会単位での見守り活動の方法やワークショップの開催等その地域性にあった福祉活動が展開できるように相談支援を行っています。

年 度	H28	H27	H26
支援自治会数	2	3	1

2-7 配食サービス事業（西川・潟東）

【実施目的・内容】

新潟市からの委託により、65歳以上の一人暮らし・または高齢者のみの世帯で希望するに、安否の確認やふれあい交流のため、給食ボランティアによる手作り弁当を月に4回昼食（西川地区）、毎週1回夕食（潟東地区）を民生委員等の協力を得て利用者宅に届けました。利用者負担金は1食300円。

平成28年度

地区名	実施日数	実利用者数	延べ配食数	ボランティア数	
				調理	配達
西川地区	43日	43人	1,718食	20人	6人
潟東地区	49日	16人	688食	12人	13人

2-8 生活福祉資金貸付事業

【事業目的・内容】

法制化された生活困窮者自立支援法のもと、関係機関との連携により、低所得者、高齢者、障がい者等の世帯に対してその自立と生活の安定のため、目的に応じた生活福祉資金を貸し付けました。また、収入の減少や失業等によって生活に困窮した世帯には総合支援資金を貸付け生活の立て直しを支援しました。

<相談件数・貸付実績>

資金種類		件 数	
		相 談	決 定
生活福祉資金	総合支援資金	0	0
	福祉資金	39	0
	教育支援資金	10	1
	不動産担保型生活資金	0	0
H28 合計		49	1
H27 合計		88	1
H26 合計		77	0

2-9 行旅人旅費貸付事業

【事業目的・内容】

法外援護事業として、旅行中に紛失、盗難等により金銭を携行できない行旅人に対して目的地までの交通費の一部となるよう、1人あたり190円を貸付けました。

<貸付実績>

年 度	件 数
H28	1
H27	1
H26	0

3 ボランティア・市民活動推進事業

3-1 ボランティアセンター運営事業

ボランティア活動に関する相談や情報提供を行うことを目的に、ボランティア・市民活動支援センターを設置し、身近な窓口として積極的に活動を展開しました。

また、福祉やボランティアについて、家族で話し合い参加できるような環境づくりを目指し、各種講座を開催しました。

○ボランティアグループ数、人数

区分	高齢者福祉 関係	障がい者福 祉関係	児童福祉関 係	病院・施設 関係	視覚障がい 者支援	聴覚障がい 者支援	地域活動 その他	災害関係	計
団体数	16	6	5	2	2	3	21	4	59
所属人数	329	20	50	18	44	66	738	61	1,326
個人人数	18	0	0	0	1	0	0	0	19

① ボランティア保険加入

活動保険加入者数	行事用保険加入件数
1,239	136

② 相談件数

ボランティア アしたい (a) B	ボランティア ア欲しい (b) A	情報欲しい C	情報提供し たい D	計
14	25	65	6	110

③ ボランティアしたい (a)

高齢・障がい	児童	災害	病院	地域活動・その他	計
5	2	0	0	7	14

④ ボランティア欲しい (b)

高齢・障がい	児童	災害	病院	地域活動・その他	計
15	2	0	0	8	25

⑤ ボランティア欲しい (b)

個別	福祉施設・病院	学校	団体	その他	計
8	8	2	7	0	25

3-2 災害ボランティアセンター運営事業

【事業目的・内容】

西蒲区内の職員の異動に伴い、災害ボランティアセンター設置までの初動訓練とマニュアルの確認を行いました。

開催日	内容	参加者数
平成28年11月27日(日)	西蒲区災害ボランティアセンター初動訓練 講師 にいがた災害ボランティアネットワーク 李 仁鉄 氏	25人

3-4 ボランティア・市民活動育成事業

1) 「福祉の学び」支援

【事業目的・内容】

小中学校の福祉授業の一貫で、高齢者の疑似体験をすることで、相手を思いやり助けあうことの大切さを感じ、地域に暮らす一人として何が出来るか考え・行動する為の力を育む機会として支援を行いました。

対象	内容	回	参加者数(延べ)
松野尾小学校 4学年	災害クロスロード(西区社協VCと行いました)、福祉についての講話、高齢者体験、車いす体験を行いました。	3	36人

対 象	内 容	回	参加者数 (延べ)
西川中学校 3 学年	高齢者体験、白杖体験、車いす体験を行いました。	2	106 人
和納小学校 4 学年	クロスロードを行い、災害時の判断やそれぞれの違いなどを学びました。	1	36 人
巻東中学校 2 学年	認知症を正しく理解するためのクイズやグループ活動を行い、福祉への関心を高めました。	1	89 人
岩室小学校 4 学年	認知症サポーター養成講座の開催、パソコン教室すずらんの方をお招きし講話していただきました。	2	62 人

2) ボランティア講座・交流会

【事業目的・内容】

各関係団体等には個別に案内し広く地域住民に広報しボランティアへの理解を促進することを目標とし開催いたしました。

事 業 名	回 数	参加者数 (延べ)
ボランティア受入担当者研修会	1 回	50 人
ボランティアのきっかけづくり傾聴講座	全2 回	10 人
地域のお茶の間サロン交流会	1 回	50 人
合 計	4 回	110 人

4 広報・啓発活動事業

4-1 地域福祉推進フォーラム事業

【実施目的・内容】

地域包括ケアシステム構築に向け、西蒲区では第1層協議体につき、各地域包括支援センター4圏域に第2層協議体「支え合いのしくみづくり会議」が立ち上がり、支え合いのしくみづくり推進員が選出されました。

地域包括ケアシステムの中では、こと地域では盛んに支え合いのしくみづくり会議のことが話題となっていますが、地域包括ケアシステムの全体像を語る上で地域医療・介護の専門分野の取り組みも合わせて理解していただくために、「いつまでも安心して暮らせる地域、西蒲区」をテーマに医療・介護、地域の視点から地域福祉推進フォーラムを開催しました。

開催日/会場/参加者	内 容
平成 29 年 3 月 26 日 (日) 会 場：巻地域保健福祉センター 参加者：民生児童委員、西蒲区 在宅医療ネットワーク参加者、福	第1部 社会福祉功労者表彰式 第2部 地域福祉推進フォーラム ・基調講演 医療法人社団 萌気会 黒岩 卓夫 氏 「最後まで住み続けることができる地域」

開催日／会場／参加者	内 容
社団体、地域住民組織福祉部会及びボランティア 等 120 人	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケアシステムの構築に向けて 実践報告① 新潟市の取り組み 西蒲区役所健康福祉課 課長 頓所 鹿乃子 様 実践報告② 在宅医療ネットワークの取り組み 代表幹事 潟東クリニック院長 福田 喜一 様 新潟市在宅医療・介護連携ステーション西蒲 西蒲中央病院 地域連携相談室 梅川 望 様 実践報告③ 西蒲区支え合いのしくみづくり推進員から 各圏域支え合いのしくみづくり推進員の紹介

4-2 広報事業

【実施目的・内容】

西蒲区社会福祉協議会の事業を広報とホームページで公開することによってより広く周知し、福祉の啓発をするものです。

また、助成金の案内の更新を随時行い、賛助会費に協をいただいた企業の方々を公開しました。

広報紙名・発行号	発行月	主な内容
第30号 にしかんく社協だより	平成28年8月	平成27年度事業決算報告 平成28年度事業計画 赤い羽根共同募金平成28年度公募型 助成事業のお知らせ
第31号 にしかんく社協だより	平成29年3月	平成29年度社協の方針 赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募 金実績報告 賛助会費一覧

5 社協運営費

1) 役員会の開催

会議名	開催日・場所	主な議題
①第1回 役員会	平成28年5月19日 巻ふれあい 福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> ・西蒲区社会福祉協議会規約の一部改正について ・西蒲区社会福祉協議会理事選出規定の一

		部改正について ・役員の一部選任について ・平成 26 年度事業報告並びに決算について
②第 2 回役員会	平成 29 年 3 月 2 日 巻ふれあい 福祉センター	・平成 29 年度西蒲区社会福祉協議会事業計画（案）並びに予算（案）について ・新潟市社会福祉協議会定款変更に伴う評議員の選出について ・西蒲区社会福祉協議会役員改選について

2) 県民福祉大会等への参加

大会名	開催日・場所	参加者数
第 66 回 県民福祉大会	平成 28 年 10 月 25 日～26 日・湯沢町	16 人
市民福祉の集い・介護フェスタ 新潟市社協 60 周年記念式典	平成 28 年 11 月 13 日・朱鷺メッセ	12 人

6 生きがい通所

6-1 生きがい通所事業

【事業目的・内容】

家に閉じこもりがちな高齢者、要支援・要介護状態になるおそれのある高齢者に対し、介護予防・社会的孤立感の解消及び自立生活を確保する目的で運営しています。

平成 28 年度

会場	開設曜日	開設日数	延べ利用者数
西川高齢者ふれあいセンター	月曜～金曜	242 日	1,996 人
新潟市潟東ゆう学館	火・水・金	149 日	814 人

7 指定管理施設

7-1 指定管理施設

市民の心身の健康を保持し、福祉の増進を図るとともに、福祉関係団体及びボランティアの地域福祉活動を支援しました。

センター名	開催日数	延べ利用者数
西川社会福祉センター	243 日	2,145 人
巻ふれあい福祉センター	360 日	29,638 人

II 社協会費の募集状況

区社協の活動を充実・活性化させるため、一般会員会費の募集に加え企業・事業所等へも賛助会員会費の募集を行いました。

<一般会員会費納入状況>

平成 27 年度納入額	平成 28 年度納入額	納入自治会数
6, 189, 897 円	6, 178, 834 円	228 自治会

<賛助会員会費納入状況>

平成 27 年度納入額	平成 28 年度納入額	納入状況
1, 017, 000 円	1, 016, 000 円	181 件・217 口

III 関係機関との連携・参画、その他事業

1) 日常生活自立支援センター連携

判断能力の不十分な方が、生活に必要な福祉サービスを利用しながら地域で安心して暮らすことが出来るように、福祉サービスの利用援助を行う日常生活自立支援事業を新潟市日常生活自立支援センター（あんしんサポート新潟）との連携を密に行いました。

<西蒲区の取扱い状況>

平成 28 年度契約件数	総契約件数	生活支援員数
3 件	16 件	14 名

2) 西蒲区民生委員児童委員会長連絡会への参加

西蒲区民生委員児童委員会長連絡会 10 回
地区民生委員児童委員定例会 各地区 12 回

民生委員児童委員会長連絡会に参加し、行政、民生委員児童委員及び社協との連絡調整を行い、連携強化に努めました。

3) おもいやりのひとかき運動

バス停や横断歩道付近の適当な場所に除雪用スコップを設置し、バスや信号待ちの人たちから除雪に協力してもらうことで、地域で思いやりと助け合いの心を育む活動の一環として実施しました。

設置地区名	設置数
岩室地区	4件
巻地区	13件
西川地区	3件
潟東地区	3件
中之口地区	2件

4) 共生フォーラムへの参画

【実施目的・内容】

障がいのある方もない方も、どんな年齢の方でも、助けあい、支えあう共生のまちづくりを目指して共生フォーラム実行委員会が開催するにあたって、参画・協働し相互理解を目指して開催に協力しました。

テーマ	参加者
2016 たすけあい・ささえあい 共生フォーラム in 西蒲 話して・知って・そこから一步	230人

5) 福祉バス運行事業

【実施目的・内容】

公共交通網が利用しにくい西蒲区において、福祉3団体及び西蒲区ボランティアセンターに登録されている団体の組織的な福祉活動を支援する目的で運営しています。

主な利用目的	対象者	運行回数	延べ利用者数
視察・研修	福祉3団体及び・ボランティア団体	22回	492人

6) 地域貢献事業

地域で行われる行事に、西蒲区社会福祉協議会として参加しました。

開催日	内容	参加者数
平成28年6月17日(金)	巻まつり民謡流しへの参加	35人
平成28年8月20日(土)	駅南振興祭への参加	7人
平成28年8月26日(金)	西川まつり民謡流しへの参加	21人